

第1巻 第1号 昭和32年5月

原著論文

長谷部言人：働態学と人類学生	1
永田 武・秋本俊一・上田誠也・清水吉雄・小島 稔・小林和男：第四紀の古地磁気学	7
小池 清・成瀬 洋：南関東における鮮新・更新両世の境界問題に関係した2・3の考察	11
相沢忠洋：赤城山麓における関東ローム層諸石器文化層の位置について	17
貝塚爽平：武蔵野台地の地形変形とその関東造盆地運動における意義	22

講演要旨

関東ローム層と文化層〔杉原荘介〕	30
雑 報 エール大学通信〔堀江正治〕	31
新著紹介 斐文中：中国石器時代の文化	32
今村学郎：放射性炭素による年代I	34
学会記事	35

第2号 昭和33年1月

原著論文

井関弘太郎：日本に於ける海面の相対的变化と沖積層	39
山本武夫：Jet Stream の永年変化と永河活動の関係	45
塚田松雄：花粉分析からみた後氷期の気候変遷	48
高井冬二・鹿間時夫・井上正昭・長谷川善和：静岡県引佐郡井伊谷村産象乳歯化石について	58

講演要旨

南極昭和基地附近の地形〔古川虎雄・戸谷洋〕	62
雑 報 高井冬二：Fourth International Congress, INQUA (1953) について	64
学会記事	68

第3号 昭和33年5月

原著論文

高井冬二：西アジアにおける旧石器研究と今後の問題	69
阪口 豊：サロベツ原野とその周辺の沖積世の古地理	76
渡辺直径：古地磁気研究法による人類遺跡の年代判定	92

講演要旨

日本平およびその周辺の地形発達史〔土隆一〕	100
雑 報 エール大学ブライストシーン セミナー〔堀江正治〕	101
新著紹介 Flint, R.F.: Glacial and Pleistocene Geology	102
学会記事	104

第4号 昭和34年1月

原著論文

池辺辰生：近畿における旧象化石の分布	109
直良信夫：岩手県花泉町金森の化石類と人類遺物と考案される骨角器について	118
高橋正五：信濃川流路と更新世堆積盆地	125
伊田一善：静岡県焼津市地下の第四系	129

講演要旨

支那沿岸の底質について〔新野弘〕	135
C ¹⁴ の誤差〔今村学郎〕	137

雜報 第5回国際第四紀学会に出席して〔鹿間時夫・杉原莊介〕	138
学会記事	142

第5号 昭和34年9月

原著論文

成瀬 洋：古東京湾の形成について——南関東上部新生界の地史学的研究(1)——	143
阪口 豊：尾瀬ヶ原古湖泥炭層——晩氷期 (Spät-glazialzeit) の堆積物——	155
Fuyuji, Takai and Ryuichi, Tsuchi: Notes on the Fossil Elephant Recently Found in the Sahama Mud, Shizuoka Prefecture, Japan	164
芹沢長介：新潟県荒屋遺跡における細石刃文化と荒屋形彫刻刀について (予報)	174

講演要旨

古谷泥彦・牧ノ原磯層の地形変遷について (予報)〔土隆一〕	182
日本アルプス山麓の第四紀層 (予報)〔小林 匡夫〕	183
紹介及び批評 アリゾナ大学の Geochronology Laboratories の活動とその出版物について〔小堀 巖〕	185

学会記事	190
------	-----

第6号 昭和35年5月

原著論文

土隆 一：渥美半島周辺の第四系の地史学的問題	193
前川文夫：フクツギの分布と古赤道	212
中川久夫・小川貞子・鈴木養身：仙台付近の第四系および地形(1)	219
星野通平・佐藤任弘：房総半島鴨川沖海底谷の地形と底質について	228

講演要旨

伊豆大島の表層地質——陸上火山性堆積物の層序区と最近約千五百年間の火山活動——〔中村一明〕	238
学会記事	240

第7号 昭和35年10月

原著論文

成瀬 洋：相模積成盆地の変遷——南関東上部新生界の地史学的研究(2)——	243
岡崎由夫：北海道釧路平原の沖積世の古地理——釧路平原生成過程の研究 第5報——	255
松沢重生：長野県諏訪・北崩場石器群——特に石器製作工程の分析を中心として——	263
小池一之：茨城県東海村付近の地形発達	274

講演要旨

東海地方の第四系生成史〔土隆一〕	279
学会記事	281